

《短報》

山口県内でのクロクシヒゲボタルの2新産地

柿沼 進

〒753-0011 山口市宮野下1126-95

クロクシヒゲボタル *Cyphonocerus watarii* M. Satô, 1991 の新たな生息地を、山口県内で2ヵ所見出したので報告する。同定は豊田ホタルの里ミュージアムの川野敬介氏による。採集者はいずれも筆者で、標本は豊田ホタルの里ミュージアムに収蔵した。

採集記録

山口県岩国市錦町 寂地山 (標高約1000m地点), 1♂, 16.VII.2006. 図1

山口県長門市渋木 花尾山 (標高約650m地点), 1♂, 3.VII.2009. 図2

寂地山は山口県のほぼ東端に位置する西中国山地の深山で、山頂は島根県との県境を成し、山口・広島県境も近い。山頂の標高は1337mであるが、本種を採集したのは標高およそ1000m地点の、山口県側の登山道脇である。種名不明の植物の葉上で発見した。周囲は湿潤な広葉樹林であったと記憶している。

一方の花尾山は県の北部に位置する独立峰で、ここでは山頂(標高669m)から若干下った稜線上の登山道脇で発見した。イネ科植物の穂の上で静止していた。周囲は比較的開けた草地で、登山道を挟んだ反対側は樹高の低い広葉樹林だった。

同氏によると、成虫の発生時期が6月上旬から7月上旬の短期間に限られることも、本種の観察例が少ない要因の1つであろうとのことなので、今後この時期に山地を調査する機会があれば、県内、さらには広島県、島根県からも、新たな生息地が発見される可能性があると思われる。



図1 寂地山産クロクシヒゲボタル♂



図2 花尾山産クロクシヒゲボタル♂

謝辞

標本の同定と、生態や分布についての貴重な情報を教示していただき、本誌への投稿を勧めてくださった川野敬介氏に、心より御礼申し上げます。